

# 評議会だより

## 第四四八回評議会

平成四年九月八日(火)

(教員選考報告)

総合科学部

教授 井上 研二(ロシア語)

理学部

助教 松島 治(動物生理学)

〃 細谷 浩史(動物分類学)

講師 住田 正幸(麗澤環境)

医学部

助教 廣川 裕(放射線医学)

講師 杉田 孝(整形外科)

医学部附属病院

講師 工田 昌也(耳鼻咽喉科)

工学部

教授 佐伯 正美(機械設計工学)

助教 木村 昭郎(遺学・歴史)

以上の報告があった。

(報告)

一 広島大学とパリ第四大学フランス

文明研究センターとの間における学

生交流に関する協定の締結について

報告があった。

二 平成五年度新規概算要求事項につ

いて報告があった。

(議事)

広島大学と連合王国サセックス大学

との間の学術・教育交流に関する協定

の締結について

原案のとおり承認した。

## 第四四九回評議会

平成四年一〇月一三日(火)

(教員選考報告)

総合科学部

教授 鹿野 忠生(英米研究)

〃 森 利一(社会文化研究)

〃 鯨坂 学(社会文化研究)

〃 小南 思郎(自然環境研究)

〃 中根 周歩(自然環境研究)

〃 飯田 操(英語)

〃 竹島 俊之(ドイツ語)

〃 笠井 達哉(保健体育)

助教 吉田 純子(英語)

教育学部

教授 安原 正幸(音楽教育学)

〃 渡部 和彦(体育教育学)

医学部

助教 安井 弥(病理学第二)

講師 横崎 宏(病理学第二)

医学部附属病院

講師 福岡 治仁(放射線部)

工学部

助教 灰山 彰好(建築計画学)

〃 三浦 正幸(建築計画学)

以上の報告があった。

(報告)

広島大学と連合王国サセックス大学

との間の学術・教育交流に関する協定

を締結した旨の報告があった。

(議事)

一 広島大学大学院の運営に関する委

員会規程の改正について

原案のとおり承認した。

二 入学及び編入学等を許可すべき者

の選考手続を変更するための関連規

程の整備について

各部署で検討の上、次回の定例評

議会に諮ることとした。

## 学生の交通死亡事故多発!

新聞報道等でご存知のことと思うが、

夏休み明けの九月からだけで(十月三

日現在)、交通事故によって五名もの

若い尊い生命が失われた。今年度はこ

れまでに、長期入院(死亡を含む)を

必要とする重大交通事故がすでに十三

件も起きている(届出分)。この死亡

者数は昨年度、一昨年度の各四名を越

えている。

まさに交通事故非常事態!

交通事故は「他山の石」ではなく、

身近なところで起きている。

自分が!

午前中一緒に講義を聴いた級友が!

夕方まで一緒にクラブ活動をした仲

間が!

交通事故は、被害者にとっても加害

者にとっても、悲劇そのものである。

一人一人が「事故防止」を心掛けよう!

自動車(バイク)は便利な交通手段

である。希望する場所に、希望する時

刻に、乗換えや待ち時間なしで到着す

ることができ。しかし、自動車は

「自分で動く車」ではなく、「自分

(人)が動かす車」である。したがっ

て、自分にも、他人にも「安心できる

動かし方(運転)」をしなければなら

ない。1km運転する時も、100km運

転する時も、狭い道路でも、広い道路

でも、この心掛けは同じである。

### 「安心運転」=「事故防止」

ここで、今年四月以降に起こった十

三件の事故の内訳を分類する(括弧内

は死亡者数)。

自動車四件(三)、バイク八件(二)

自転車一件。

また、発生時間帯では、午後十時以

降の深夜が五件(四)。

場所では、国道二号線周辺が七件

(三)、西条キャンパス周辺が二件

(一)。

さらに、学部別では教育学部生五名

(一)、経済学部II部生三名(二)、工

学部生三名(二)、法学部II部生二名、

医学部生一名、生物生産学部生一名

(一)。

これらの数字を見る限り、深夜の国

道二号線が最も危険だと言えよう。ま

た、西条キャンパス関連学生の事故が

多いことは、統合移転が過渡期にあり、

学生の生活拠点が広島市と東広島市に

二分され、課外活動やアルバイトに車

やバイクを使っている移動が多いことが

大きな要因と思われる。

最後に、ここで取り上げた十三件は、

新聞報道や本人または家族からの届出

により学生部が把握した数であること

を記しておく。

(広報委員会 落合 洋)